

福祉 ユーカリが丘

ユーカリが丘地区社会福祉協議会
 発行人 会長 坪松康隆
 編集 広報事業部
 〒285-0843 千葉県佐倉市中志津2-32-4
 西部地域福祉センター内
 電話: 043-460-1781 FAX: 043-463-4169
 事務局員勤務: 火・水・金の13時~17時
<http://yukari-shakyo.jp/>

平成21年度に向けて “安心して住み続けられる福祉のまちに”



楽しく優しいまちに

◆ 楽しく笑顔にあふれた「ふれあい福祉まつり」「敬老の集い」や「三世交代交流会」、また「100円喫茶」「歌声喫茶カフェ・ユーカリ」など世代を越えて集うふれあいの場も、福祉委員やボランティアの皆さまのご協力により、参加者も年々増加しコミュニケーションの輪が大きく広がってきました。さらに、住民の皆さまが地域との関わりの中で、楽しく自分らしい生き方を実現できるように努力していきます。

高齢化は進んでいます

◆ 一方、ユーカリが丘地区も開発当初の住民融和が最大の課題であった時代から、地域の実情は少しずつ変わってきました。急速に進む高齢化は、身体的な機能障害や移動困難者を徐々に増加させており、介護保険法などによる施設・在宅介護を受けられない人の日常生活支援は、ますます重要になってきました。いつまでも健康で楽しく暮らしたいという願いは、大切にされなければなりません。高齢化に伴う様々な日常生活上の課題や不安に対して、行政サービスが対応できないものも多々あり、住民同士支え合うシステムを構築することが必要になってきました。

困ったときはお互い様

◆ そのために「要支援者サポートシステム検討委員会」を設置して、「ちょっとしたお手伝い」を住民同士支え合うボランティア活動として、実現するための検討に着手しました。健康であれば日常的になんでもない買い物や、通院、電球取り替え、草取りなどが、何らかの理由でそれが困難になったとき、手を差し伸べてくれる人が近隣にいてくれたら、どれだけ心強いことでしょうか。

住民同士声かけ合って

◆ また、「見守り制度」については、状況を把握しやすい自治会が中心的役割を担うこととなりますが、まず災害時の対応策について地区社協案を提案させていただきました。また、引きこもりや孤独死対策としての「日常の見守り制度」も急がなければなりません。発見とフォローは広域的に対処する必要があります。自治会や民生委員及び関係機関の皆様とも連携して取り組んでいきます。

皆さんの声に耳を傾けます

◆ 「ともに歩む福祉プラン」は、住民の皆さんのご意見を反映したものであり、地区社協としての推進状況を客観的に評価分析し、今後の活動に生かしていくために、「福祉プラン推進委員会」を設置しました。課題

実現のために努力していきますが、今後とも福祉委員に気軽に声をかけてください。

福祉のまちづくりは私たちの手で

◆ 「まちづくり協議会」の結成は、住民の皆様の様々な生活・福祉課題の解決と、街の活性化のために極めて重要であり、地区社協も積極的に参加協力していきます。

◆ 福祉教育推進関係は、小中高等学校と地区社協の開催する諸行事に双方が参加協力することにより、生徒と住民がお互いの顔が見える距離に近づくことが出来ましたが、さらに学校と地域が協力して育む体制整備に努力していきます。

◆ これからも地区社協は住民同士の信頼の架け橋となり、いつも皆様の身近な存在であり続けるよう努力して参ります。皆様の参加協力を心よりお願い申し上げます。

会長 坪松康隆



12月19日青菅小学校の餅つき



「100円喫茶・さわやかプラザ」
(ユーカリ第2集会所)

「心」と「心」を結ぶ活動 あなたにとどきましたか？

昨年地区社協は2年ぶりの役員改選時にあたり、5月から4つの「ブロック」と6つの「事業部」が新しい体制でスタートしました。そしてこの4月で早1年が経過しました。運営リーダーであるブロック長と事業部長にも新任が加わり、事業活動の新たな連携協力も期待されました。ここで各リーダーに登場をお願いし、この1年の活動を振り返るとともに次年度に向けた抱負を発信していただきました。このメッセージを通して、地区社協がご近所のより身近な存在として、あなたに理解されることを願っています。

「小竹・米作り体験活動」プロジェクトスタート

第1ブロック長

保谷 貞男

平成20年度の特記事項は、住民福祉懇談会を年間通して「子供への地域の課題」をテーマとして開催（7月と3月）した事です。その課題の一つ、小竹小の児童を対象に「小竹・米作り体験活動」プロジェクトが小竹区の皆

様のご協力で1月からスタート致しました。

「敬老の集い」は10月に開催。さらに、小竹小学校の「美化運動」、「ふれあい給食会」、「もちつき大会」、「お正月（昔）遊び交流会」等に積極的に協力・実施を致しました。

平成21年度は新たに大きな戦力となる福祉協力者5名の方が加入されます。「地域福祉の向上」になお一層の努力を重ねて参りますので、宜しくご協力をお願い申し上げます。



「小竹・米作り体験活動」



「お正月（昔）遊び交流会」



小竹小の餅つき大会

「楽しく住みやすい町作り」を一緒に

第2ブロック長

川上 芳男

当第2ブロックは駅前の高層マンションとモノレールで繋がったユーカリが丘4、6、7丁目そして井野東1、2区で構成されております。

昨年7月に行った住民懇談会のテーマは「見守り制度の構築」「地震等の自然災害時の協力体制について、特に高齢者、独居者、要支援者への支援体制」についてです。これからの事を皆でザックバランに話し合いました。

これからは、地域から孤立しての生活は益々困難で、地域と密着して生きて行くことが大変に重要になってきます。若い人達、団塊世代の人達のどんなでも結構です。あなた自身のよりよい人生を、安心して生活できるよう、

地域の人達と一緒に活動してみませんか。社会福祉協議会への参加を考えてみて下さい。あなた自身のために。



3月15日の「ふれあい昼食会」
場所：志津コミュニティセンター 大会議室

「敬老の集い」と地域のバリアフリー化

第3ブロック長

村上 茂夫

ブロックにおいて年間を通して最大の事業である「敬老の集い」。会場である青菅小学校には毎年多数の敬老者にお出かけいただいておりますが、車椅子での参加も多々あります。しかし、メイン会場である体育館の入り口には段差があり、スタッフ数人が車椅子を持ち上げ会場に入っていたいただいております。

2005年の反省会で、車椅子でも入場できるよう「スロープ」の設置要望が出され、翌2006年にはスロープの設置工事をしていただき、入



2008年9月27日の「敬老の集い」



り口に至るスロープが完成しました。一方「敬老の集い」が3時間にも及ぶため、体育館の「トイレ」の問題も取り上げられていました。洋式のトイレが少ないことから、2007年には据え置き型の洋式便座で対応しましたが、車椅子用のトイレがないために参加を躊躇（ちゅうちよ）されているということも聞きました。

そのような意見を小学校に伝え改善を要望しましたところ、小学校や市当局の理解と協力のもと、2008年には車椅子対応のトイレに改修していただきました。

佐倉市の基本計画にも「人にやさしい生活環境の整備」として「公共施設、道路等のバリアフリー化の推進」が謳（うた）われています。「敬老の集い」のみならず災害時の避難場所としても指定され、また各種行事の会場としても利用されている地域の核となる小学校の体育館を、このように積極的にバリアフリー化していただいたことに感謝し、非常に感謝しております。

12月13日「ふれあい昼食会」
(上座殖産集会所)太田さんの黒田節
(9/27 敬老の集い)

「あなたの心」を少し 分けていただけますか？

第4ブロック長 清見 啓子

第4ブロックには、タレント性を持った沢山の方がいらっしやいます。踊りが得意な方、手芸が好きな方、折り紙が好きな方がいらっしやいます。それぞれ「敬老の集い」で踊っていたいたり、「福祉バザー」に手芸品を出していたり、と皆さん、心が輝いています。第4ブロックをあなたの活動の居場所にしてください。一人一人の心をつないで地域福祉への参加意識を高める努力をしていきたいと考えています。

「あなたの心を少し分けていただけますか？」

佐倉西部地区社協「虹のサービス」講演レポート

3月8日(日) 志津コミュニティセンターで今年度最後となる「第4回福祉委員会」が開催され、引き続き福祉委員研修が実施されました。この研修会には佐倉西部地区社協の山岸洋子さんを講師にお招きし、現在実施されている「虹のサービス」について講演していただきました。



佐倉西部地区社協の山岸洋子さん

佐倉西部地区は京成佐倉駅からJR佐倉駅に至る1968世帯で、旧市街地であるため町内会、自治会がしっかりし、近所づきあいも日常的にある地域です。

西部地区社協では平成19年9月に「虹のサービス」を発足しました。準備期間に3年の歳月を要したとのこと。

現在のサービス内容は、家事援助

(①掃除 ②洗濯 ③買い物 ④食事づくり ⑤話し相手 ⑥繕い ⑦アイロンがけ ⑧布団干し ⑨代読 ⑩代筆)、大掃除、草取り、枝きり、ゴミだし、散歩や外出の付き添い、書類や薬の受け取りなどの活動をしています。利用者と支援者は登録制で有料、料

金は30分300円、1時間500円です。

当ユウカリが丘地区を見れば、古い地区と山方が開発したまだ若い地区が混在し、高齢化は他地区よりも低い、50代、60代が多いことから今後高齢化は加速すると思われます。

遠い親類より近くの他人、向こう3軒両隣。互助の気持ちで明るい街づくりのために、ユウカリが丘地区社協もこの制度を発足すべく準備を進めています。会員の皆様方にもよくご理解をいただき、「要支援者サポート検討委員会」へのご支援をお願いいたします。

ユウカリが丘地区社協は「要サポート」問題を今年度最大のテーマとして取り上げ「要支援者サポート検討委員会」を立ち上げました(委員長・横井勇)。

「要サポート」とは高齢者のみの世帯、また心身になんらかの障害を有する方で身近に面倒を見る人がいない方など、日常生活に支障のある方を支援しようとする取り組みです。

文〓小森 昭雄(先駆事業副部長・要サポート検討委員)

地域の地域による地域の ための交流をめざして

交流事業部長

土谷 千穂

10年前井野中学校で開催されていた「敬老の集い」が小学校開校に移行し、当時の井野中学校の校長先生から敬老の集いになるなにかを井野中でやってほしいとの依頼から始まった「三世代交流会」。今年度は中学生と地域の方々で行った「ジャンケン列車」で大いに盛り上がりました。また、児童福祉の一環で2002年から始まった「お話フェスティバル」は地域の青菅小学校、小竹小学校、井野小学校、志津小学校の児童・PTAの方々に参加していただき、多くの子供たちに楽しいお話や人形劇や落語を楽しんでいただきました。地域の方々に地域の子供たちやPTAの方々が作り上げたもので楽しんでいただくのはもちろんなのですが、参加する子供たちにも人に伝える楽しさを分かってもらえたら嬉しいですよ。



3月28日のお話フェスティバル



三世代交流会のジャンケン列車

20年度活動報告と21年度へ向けて

笑顔のあなたが主役ですよ

支援事業部長

田口 澄子

◆今年度は、地域福祉事業の一環として7ヶ所で開催している「1000円喫茶」のより一層の充実拡大を図るため、それぞれ会場ごとに名称をつけ、地域色を大切にしていこうと重点を置きました。

7つの会場の名称は、「かがやき喫茶」「ほほえみ喫茶」「わいわい喫茶」「ふれあいサロン」「さわやかプラザ」「憩いの場ふれあい喫茶」「みんなの広場」です。スタッフと利用者の皆さんの創意工夫により「みんな違ってみんな良い」会場となっております。

◆生まれて1年過ぎた「歌声喫茶力



12月20日の歌声喫茶



2月18日の「みんなの広場」

フエーカリ」は、“みんなで声を合わせ、心を一つにして歌うことで、日頃のストレス解消（心の健康）の場になっている”と参加者の嬉しい声も聞けるくらい成長しました。

◆高齢者福祉事業の「いきいきサロン」コミセン会場・宮ノ台会場も、それぞれつつがなく活動がなされていますが、高齢化の波が急速に押し寄せるなか気軽に多くの人たちが集える場になれるかどうか今後の大きな課題です。

◆毎月10ヶ所、温かく楽しいふれあいのドラマがこの地域で繰り広げられています。どの会場にも福祉委員・一般ボランティアからなる心優しいスタッフが、あなたをお待ちしております。

※「かがやき喫茶」（ユーカリが丘第1集会場）ではボランティアの募集しております。



「カフェ・ユーカリ」4月からの開催予定

開催場所	開催日時	4月	5月	6月	7月
志津コミュニティセンター	第3土 14:00~16:00	18	23 (第4土)	20	18

問い合わせ先 事務局 043-460-1781

ボランティアって 楽しいですよ

ボランティア事業部長

内野 勇夫

今年は地域の小、中、高校の生徒さんたちと、街頭での募金活動、道路や公園の清掃、花も植えました。また高校のボランティア授業にも参加して、一緒に勉強もしました。

自分たちが住む街で、自分たちで何が出来たのを考えてもらい、そして参加する喜びを体験してもらいました。

毎日の生活の中で、子供さん、お父さんやお母さん、そしておじいちゃん、おばあちゃんみんなが身近なところで、自然になんでもお手伝いする。こんな街を目指して、ボランティア事業部員は一年間活動をしました。来年も街のあちこちで、いろんなことをやります。皆さんもぜひ参加してください。ボランティア活動って結構楽しいですよ。



千葉県立佐倉西高校でのボランティア講座

社協の夢を追っています

先駆的事业部長

横井 勇

「移動サービス」 20年は移動サービス普及のため、サポーター募集利用者募集のチラシを作成（8000枚）し、住民の皆様と呼びかけましたが、反応がほとんどなく、当面見送りといったしました。機運の盛り上がりを待ちます。

「災害時見守り制度」の立案 「災害時見守り制度」の具体的な実施案を作成し、自治会協議会に提案いたしました。この案を活用して当地区の各自治会で、早速導入が始まりました。

「要支援者サポートシステム検討委員会」 支援を必要としている方に「福祉サービス」を提供する事業の立ち上げのため、「サポート検討委員会」が立ちあがりましたが、先駆的事业部ではこの早期実現のため積極的に協力していきます。



要支援者サポートシステム検討委員会（毎月1回開催）



本年度の福祉研修のテーマは、「災害」、「障がい者」、「認知症」でした。

研修事業部長

石引 康俊

今年度は、「災害時の対応およびいざという時に行動できる救急救命」、「認知症に対する対応を学ぶ」を行い、4地区合同研修では「障がい者と共々生きる社会を目指して」、福祉委員・研修部員・一般市民を対象に学習を行いました。

特に災害時の対応とユーカリが丘の状況に関して講演していただきましたが、改めて知ることや状況が把握できてよかったと思います。

次年度は、自治会を含め一般市民の皆様と共に進めながら、他の部会との共通課題の中から研修を進めていくことがも大事であると思います。また一般市民の方々が参加していただけるように佐倉市の広報の活用も必要と思っています。

平成20年度ユーカリ地区社協への

視察研修団体

- ①平成20年11月30日
・木更津市清川地区社協（20名）
- ②平成21年2月19日
・市原市社協五井支部（24名）
- ③平成21年3月13日
・柏市永楽台地区社協（24名）

届かなければ、読まない！

第2ブロック／第3ブロックで

〈各戸配布〉に取り組みました

広報事業部長

尾田 信隆

年4回は発行される社協だより「福祉ユーカリが丘」。これをお母さんだけでなくお父さんやご家族にも読んでもらいたい。この広報の願いを届けるために、昨年9月から広報は〈各戸配布〉の呼びかけを始めました。

12月号から2つのブロック・・・第2ブロックと第3ブロックで〈回覧板配布〉から〈ポストイン〉へのモデル化実験です。この推進役には、15人の自治会長さんや福祉委員のみなさんが役割分担し、配布活動に協力されました。今後につながる貴重な取り組み、ありがとうございました。

この4月からまた各自治会の幹事も変わりますが、全ブロックにおいて社協だより「福祉ユーカリが丘」の〈各戸配布〉への挑戦をお願いします。

班長さんに感謝！

野崎勇二さん

（ユーカリ7丁目前自治会長）

「福祉ユーカリが丘」は、いままで一部取り回覧で各家庭に配布していましたが、12月号で12人の班長さんに協力してもらい、試験的に（全戸）ポスト入れをしました。配布時間のデーターも取りましたが、世帯数により5

分〜35分かかることが分かりました。安心して暮らせる地域のために、福祉委員やボランティアの奮闘も願っています。

3人でやれば一人約30分、楽になりました

山本 定さん

（ユーカリ6丁目前自治会長）

昨年の9月号は、自分一人で6丁目188部を初めてポストインしてみました。

12月号は福祉委員2名と共に3人で分担、一人30分足らずで楽になりました。よい運動だなと思いました（談）。

『認知症について学びました』

福祉委員を対象にした『認知症サポート養成講座』を、特別養護老人ホーム志津ユーカリ苑で開催し、キャラバンメイト（養成講座講師）の浮ヶ谷綾子さんから話を聞きました。

叱らず否定しない。出来る事は本人にさせ、褒める。恥をかかせない工夫や本人を安心させる工夫が必要。行動には目的や理由があるので観察し理解する必要がある。本人の行動を理解しない事で起こる、作られた障がいが多いという話しはとても勉強になりました。

『その人らしく生きていける為の地域づくり』を改めて考えさせられました。



講師の浮ヶ谷綾子さん

人と自然とのふれあい・・・ 「つながり」を大切にしている心育っています。

地区社協の重要な活動の一つが子供達と一緒に体験学習。4つの学校が福祉教育推進校に指定されていることもあり、その取り組みが一層活発になってきました。『子供達も楽しみにして準備』するとの先生の声もあがり、一歩ずつ確実に知り合う・ふれあう・学びあうという「つながる」関係が進んでいます。体験学習の「今」順を追って紹介します。

『高校生と一緒に体験』

福祉教育推進団体として、昨年に続き今年も佐倉西高等学校のボランティア授業に1月15日と22日にお手伝いとして参加しました。



上:カードゲーム、下:車いす体験



15日はアイマスクと車いすの体験。車イス体験では生徒と一緒にチームを組んで、楽しく体験させてもらいました。22日は5班に分かれて、カード式の助け&助けられゲームをしました。ボランティア授業を選択しているだけに、29名全員、ボランティアへの意識の高さに驚きました。

子ども達から多くの事を学ばせてもらえた2日間でした。

休耕田を活用(1反)、米作り体験活動始まる

目標は米4俵(240キロ)

・・・小竹小5年生が挑戦。



林 和之 前校長(写真右)
と米作りを指導する
山崎一夫さん(写真左)

小竹小学校の体験活動を地区社協第1ブロックが支援することになった。従来は校庭でバケツを使って稲を育てていた5年生の米作り作業を、田んぼで体験することになり、小竹の農家から約1反の休耕田を借り上げた。

第1回は2月8日(日曜日)、先生方、PTA、そして社協の人たち43

名で草取りを始めた。30年近く休ませていた田はセイタカアワダチソウの繁殖がひどく、耕運機でも取りきれない。また竹林から伸びた強い竹の根もあるので手作業となった。

2回目からは米作りをする児童たちにも田作りから参加させることになり、2月26日の授業時間内に前回の参加者に現4年生66名を加え、90名が参加という人海戦術で作業を行った。作業は順調に進み、4月に苗床を作り5月に田植え、9月に稲刈りの予定をしている。

収穫の目標は4俵で、全校児童が給食で食べるのを楽しみにしている。

○4年のYさんは

「初めて田んぼで草取りをしたけれど面白かったです。早く田植えをしたいです」

○B君は

「冬眠中の蛙が飛び出てきて驚いたけど楽しかった」と元気に言ってくれました。

○林 和之 前校長は

「今、小竹小学校では、田んぼづくりを行っています。田植えから米の収穫までを学ぶことの他に環境、自然、生き物、地域、人間関係など教室で学ぶことの出来ないことが沢山あります。地域の皆さんに感謝します」

○米作りを指導する社協の山崎一夫さんは

「子ども達と田植えや稲刈りが出来るのを楽しみにしています。稲の生育期間中も、それぞれの学年が田に住む魚や昆虫の観察をする事もできます。米作りと一緒に楽しんでください。秋には自分達で作ったお米をしっかりと食べて元気に遊んでほしい」と話してくれました。

(広報・小網)



皆と一緒に草取りをしました。

地域に根づく「お話フェスティバル」

3月28日・志津コミュニティセンター大ホールで開催

今回は、三つのグループ、それから青菅小6年生有志と、小竹小4年生有志による発表がありました。

「はろるとむらさきのくれよん」(青菅小図書委員会)は、巻物形式で絵が動いていくという、今までにない見せ方で、子どもたちは、引き込まれる様子にじっと見入っていました。「りゅうくとカブトムシ」(おはなしの森ヤッホー)は環境問題に触れた内容。「三匹のやぎのがらがらどん」(劇団井野っ子)では、怖い場面で、思わずお母さんのもとに駆け寄る子ども姿も。両小学校の子どもたちの発表は、いずれも、



「民話」に挑戦した青菅小のお友達



「劇団井野っ子」の人形劇



小竹小4年生の「民話の語り」



小竹小のユーカリ亭メガッチョ君の「落語」

声もよく通って堂々としたものでした。なんと、もう出場2回目という子ども達が大半です。ユーカリ亭メガッチョという芸名まで付けた小竹小4年生の落語は、一度で終わらせてしまうにはもったいない程の出来でした。

最後に、交流事業部長さんの、「この会は、地域で作る、地域の人たちのためのものです。次に続く語り手の子どもたちが育って、いつまでも続くことを願っています。」という言葉が印象に残りました。(広報・安川)

遊ぶときは、子供も

大人も目線は一緒！

小竹小学校で「お正月昔遊び交流会」

(1月28日)

おてだま

はねつき

風あげ



あやとり

けんだま

竹馬



小竹小、青菅小でもちつき大会

12月18日に小竹小学校、翌19日に青菅小学校で、年末恒例になったもちつき大会が行われた。両日とも快晴に恵まれ、屋外で活動するのに絶好の日より。今年も先崎の友野さんのご指導で1クラス5キロのもちつきをした。

1年生から順番に臼を取り囲み、友野さんから蒸したもち米を見せてもらい、もち米の特徴を聞いた後、1人ずつ交代で杵を持ってもちつきをした。つき上がったもちちは体育館に運ばれ、PTAのお母さん達があんこと黄な粉を塗してくれる。

1人2つずつ貰い、自分達で作ったつき立てのもちを美味しそうに食べた。お代わりは自由なので高学年生の

新年を祝うお飾り「成り木餅」

●今年も1月10日北志津児童センターが主催する「成り木餅づくり」に当社協も参加支援しました。紅白のお餅を丸めて栗の木に飾り付け、1年の無病息災・家内安全・五穀豊穡を祈るお正月の行事が地域の手で続いています。この体験学習に応募した小学生46人、幼児親子24組、大人の参加者20人が心をこめてお餅を丸め、琴の調べ(春の海)にのって3本の木に飾り付けました。(写真)

●準備と指導をされた友野文夫さん(先崎)のお話では、昔は「成り木餅」を床柱に飾って大地の豊作と家内安全を祈る。またいろりて焼いたこのお餅を食べてカゼをひかないようにし、栗の木の下で家庭もやりくり上手・・・昔からの行事だということです。

●初春や わらべの声に 成り木もち 成り木もち やりくりじょうず あすねがう

(編集長)



もちつきをする蔵市長



重いけれど『よいこらしよ』と



180人で大通りをクリーンパトロール “やっぱりきれい!”を確認しました

3月22日(日)午前10時ユーカリが丘南公園入り口には、軍手をした小学校・中学校の児童・先生・お父さん・お母さん達180人で一杯になりました。「クリーン大作戦」は子供たちの体験ボランティアとして毎年社協と学校が共同で開催している地域交流活動の一つですが、今年はヘクライネスサービスや山万グループの定例清掃活動ともタイアップしたため、昨年より20%アップの180人の参加がありました

大きなゴミ袋を持ったゴミ収集隊は5班に分かれてユーカリの中心部をパトロール、花植栽隊は南部調整池の中央通りの両側に花壇を作りました。約2時間の活動でしたが、みんなが集まって、広いユーカリの街の大通りが

や裏道そして公園の清潔状況を確認したことで、街がどんな身近になったと思います。

ところで、実際パトロールしてみても「ユーカリはやっぱりきれい!”を実感しましたがみなさんはどうでしょう。ゴミの少ないことは勿論ですが、大通りの両側だけでなく裏道の家の前もお花が一杯!街の人たちのマナーのよさや、清潔で美しい街づくりの熱意があちこちで伝わりました。



ゴミ収集隊のパトロール



南部調整池前の花壇作り

平成20年度福祉の心「愛の箱」募金額38,849円

設置をお願いしている皆様ありがとうございました(26ヶ所敬称略)

- ・武田薬局
- ・ユーカリが丘郵便局
- ・メインマート
- ・工藤外科内科
- ・お茶の北林
- ・中華料理「慶華」
- ・デア・クレイプス
- ・アクア・ユーカリ1F
- ・アクア・ユーカリ2Fボウリング
- ・千葉ガスユーカリが丘店
- ・シダックスユーカリが丘店
- ・Rビル天本クリニック
- ・Rビル眼科医院クリニック

- ・Rビル第1調剤薬局
- ・セドナ整骨院・鍼灸院
- ・ファミリー理容店
- ・ラーメン「とん太」
- ・元祖「札幌や」
- ・「とんでん」ユーカリが丘店
- ・ウイシュトンホテルマンドリンキャップ
- ・ウイシュトンホテル
- ・志津タクシー
- ・三越ユーカリが丘ギフトショップ
- ・山万株式会社
- ・たんぼぼ
- ・セルーシヤフラワーズ

◎寄付 まことに ありがとうございます

- ・上座15日会様……………8,900円
- ・匿名様……………10,000円
- ・友野文夫様……………40,000円
- ・京葉食品コンビニナート協議会様
- ………ケーキ・ジュース
- ・サティ「黄色いレシートキャンペーン」様
- (2月まで)……………94,700円



◎「歳末助け合い街頭募金」

(12月1日) 46,156円

佐倉西高校の生徒さん、ユーカリ優都びあの学童保育の子供たちのおかげでたくさん募金が集まりました。



サティ前での募金活動

「100円喫茶」4月からの開催予定

開催場所	開催日時	4月	5月	6月	7月
かがやき喫茶 ユーカリが丘第1集会所 461-7923	第4火 13:30~15:30	28	26	23	28
ほほえみ喫茶 宮ノ台自治会館	第4火 13:30~15:30	28	26	23	28
わいわい喫茶 ユーカリ殖産自治会館 461-2589	第4土 13:30~15:30	25	23	27	25
ふれあいサロン ユーカリが丘五番町ハイツ集会所	第2日 13:30~15:30	12	20	14	12
さわやかプラザ ユーカリが丘第2集会所	第2金 13:30~15:30	10	8	12	10
憩いの場ふれあい喫茶 上座集会所 461-7993	第2水 10:00~15:00	8	13	9 (第2火)	8
みんなの広場 志津コミュニティセンター	第3水 13:30~15:30	15	20	17	15

問い合わせ先 事務局 043-460-1781

編集後記

今年度も広報誌を4回発行し、皆様にお届けすることができました。

前回の広報誌からは自治会と福祉委員のご協力をいただき、できることからポストインでの配布に変更しております。今後とも皆様に読んでいただける広報誌やホームページの充実に努めさせていただきますので、気のついた点やご意見がございましたら、事務局までご連絡いただければ幸いです。